

室蘭工業大学-学報

NO.639



第46回蘭岳コンサートを開催（2ページに関連記事あり）

2023年 1月号

目 次

◇ 学内の動き ◇

大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催……………	1
第46回蘭岳コンサートを開催……………	2
RPAツールのハンズオンセミナー（基礎編・実用編）及びBPR推進セミナーを開催 ……	3
立命館慶祥高校（江別市）で出張講義を実施……………	4
台湾・国立勤益科技大学・国立台中科技大学訪問記……………	5

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ……………	8
受託研究等の受入れ……………	9
奨学寄附金の受入れ……………	10

◇ 人 事 ◇

人事異動……………	11
-----------	----

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催……………	12
------------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事……………	13
学外行事……………	13

学内の動き

大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催しました

令和4年12月9日(金)に第14回大学改革セミナー「室工大未来塾」を本部棟3階大会議室で開催しました。本セミナーは、本学教職員を対象に、学外の有識者を招き、教職員自身が本学経営者の一員である認識、自覚を以って業務に携わることを誘起し、本学の活性化を促すことを目的としています。

今回は、金沢大学融合研究域融合科学系・教授の金間大介氏を講師に招き、「なぜ今の若者はそこまで目立つことを恐れるのか？急増する「いい子症候群」の心理的特徴とアントレプレナーシップ醸成における大学の役割」と題して講演があり、役員をはじめ、大学運営に携わる教職員約30名が参加しました。

昨今の大学生の心理的特徴やアントレプレナーシップ、スタートアップ・エコシステムについて、具体的な実例を交えた講演が行われ、参加者は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講演する金間氏

第46回蘭岳コンサートを開催しました

2022(令和4)年12月10日(土)に大学会館多目的ホールにおいて、第46回蘭岳コンサートを開催し、教職員、学生及び市民約60名が演奏を楽しみました。

今回は、ピアニストの大築恵さん、チェリストの中島杏子さんをお招きしました。

コンサートでは「愛の言葉」、ピアノソナタ第11番 K.331より第3楽章 トルコ行進曲、「ルーマニア民族舞曲」、「ハバネラ形式の小品」等が演奏され、来場者は生演奏の音色に耳を傾けていました。

素晴らしい演奏の合間には、作曲家の出身国の歴史的背景等を楽しく丁寧に説明があり、来場者は大変満足していました。

今回のコンサートにおいて、「令和4年8月3日からの大雨災害義援金」をお願いした結果、皆様から寄せられた義援金は5,800円となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、ご報告を申し上げます。



コンサートの様子



演奏者と実行委員会委員

RPAツールのハンズオンセミナー（基礎編・実用編） 及びBPR推進セミナーを開催しました

12月7日(水)、12月16日(金)及び12月21日(水)にRPA（注）ツールのハンズオンセミナー（基礎編・実用編）及びBPR推進セミナーを本部棟3階中会議室及び大会議室で開催しました。

本取組みは、本学の事務業務に関するデジタルツール活用や業務改革を目的に、経営企画課が計画・実施するセミナーです。基礎編では、初級者を対象にExcelやWebの自動操作を学び、実用編では、経験者を対象に実業務で活用できる学内業務メッセージの繰り返し送信に関する自動化を行いました。BPR推進編では、係長以上の役職者を対象にDXを取り巻く状況、RPA活用・BPR推進の基本的な考え方、未来の大学職員像等を学びました。セミナー3日間で延べ38名の事務職員が参加しました。

BPR推進セミナーに参加した総務広報課係長の渡邊唯さんは、「RPAを用いた業務効率化について、まずどのように取り掛かるべきかを悩んでいましたが、デジタルに適した作業フローへの見直しや適切なデータ作成を進め、個々の行動を自動化していくというRPA活用の入口を学ぶとともに、考え方を整理することができました。今後の業務改革・効率化に活かしていきたいです。」と意気込んでいました。

注：Robotic Process Automationの略。これまでパソコンでヒトが行ってきた業務をソフトウェア（ロボット）に代行させるプロセス自動化技術。



1. ハンズオンセミナー（基礎編）



2. ハンズオンセミナー（実用編）



3. BPR推進セミナー



4. BPR推進セミナー

立命館慶祥高校（江別市）で出張講義を実施しました

令和4年12月14日(水)に航空宇宙機システム研究センター長の内海政春教授、博士前期課程の岸本健吾さん、奈女良実央さんが、立命館慶祥高等学校を訪問し、本学航空宇宙機システム研究センターとJAXA・地域との関わりに関して出張講義を行いました。

同高校でNASA研修に参加する生徒を対象に、内海教

授から室蘭工業大学と航空宇宙機システム研究センターの紹介があり、続いて、岸本さんからキャビテーション試験や共同研究の紹介、奈女良さんからJAXAインターンシップ活動の紹介が行われました。

講演終了後は、立命館慶祥中学校・高等学校の自然科学部の皆さんと懇談を行いました。



内海センター長による講義の様子



岸本さん、奈女良さんによる講義の様子



立命館慶祥中学校・高等学校自然科学部との懇談の様子

台湾・国立勤益科技大学・国立台中科技大学訪問記

坂本 裕子、小川 祐紀雄、空閑 良壽

0. はじめに

2022年12月10日～13日、本学の空閑 良壽学長、小川 祐紀雄准教授、坂本 裕子准教授が台湾国立勤益科技大学および国立台中科技大学を訪問しました。本学訪問団の国立勤益科技大学公式訪問は今回が初、国立台中科技大学公式訪問は2019年12月に続いて3回目となります。今回の訪問目的は国立勤益科技大学創立50周年式典および同大学と本学との大学間学術協定締結調印式への出席、そして国立台中科技大学への訪問です。以下に、その訪問記録を記します。

1. 国立勤益科技大学

1-1. 国立勤益科技大学創立50周年式典



写真1. 創立50周年式典開会式



写真2. 創立50周年式典空閑学長祝辞

台湾の中心にある台中市に所在する国立勤益科技大学は、私立勤益工業技芸専科学校として設立（1971-1990）、国立勤益工商専科学校（1991-1998）、国立勤益技術学院（1999-2006）、国立勤益科技大学（2007-現在）という同大学沿革でもうかがえるように台湾でも珍しい、私立から国立となった研究教育機関です。同大学は今年創立50周年を迎え、12月10日に創立50周年記念行事を開催するところ、本学からも代表団を派遣することになりました。創立50周年式典は、まず屋外で慶事にふさわしい学生による獅子舞で幕を開け、国立勤益科技大学の陳 文淵学長と本学の空閑学長からお祝いとして獅子達に“紅包”と大根、パイナップルが手渡されました。その後、学科ごとに学生達がパフォーマンスを披露し、活気あふれる開会式となりました。

屋内に会場を移して行われたメインとなる式典における陳学長の式辞では、国立勤益科技大学の沿革と、陳学長が着任後に力を入れてきたキャンパス整備とグローバル化について紹介されました。キャンパス内には多くの新しい建物が建築され、そのデザインも細部まで工夫が凝らされているほか、企業が入る建物も建てられ、そこで学生のインターンシップも行われています。

海外の教育機関との学術交流や留学生の受け入れにも力を入れており、過去3年間で留学生を現在の500名にまで増やしてきました。さらに今後の3年間で1,000名、6年後には1,500名にまで増やす計画を立てています。特にインドネシアのバンドンネグリポリテクニクとは学士課程において“2+1”と呼ばれるプログラムを展開しています。このプログラムでは、インドネシアで3年の課程修了後、国立勤益科技大学で2年半の課程を修了することで、台湾の学士号を取得することができます。また今年度、僑務委員会（海外在住の台湾出身者に関する業務全般を管轄する省庁）と合同で学内にミャンマーにおける華僑ハイテク人材育成のためのトレーニングベースを設立し、半導体やAIを中心に高度な技術力を有するミャンマー華僑の育成に力を入れていきます。

式典では国立勤益科技大学のグローバル化を象徴するように、空閑学長が主賓として祝辞を述べられたほか、日本、インドネシア、タイの姉妹校の代表者がお祝いの言葉を贈られ、留学生によるパフォーマンスも行われました。盧 秀燕台中市長もかけつけ、来賓による創立50周年を祝うケーキカットが行われました。式典の最後には、活躍する卒業生が表彰され、国立勤益科技大学の今後ますますの発展と卒業生の活躍が祈念されました。



写真3. 台中市長と来賓によるケーキカット



写真4. 留学生によるパフォーマンス

1-2. 大学間学術交流協定締結調印式



写真5. 調印を終えた陳学長と空閑学長



写真6. 調印式での記念撮影

12日には、本学と国立勤益科技大学における大学間学術交流協定締結調印式が執り行われました。2017年以来、本学の董 冕雄副学長、太田 香教授と国立勤益科技大学情報工学科林 国祥教授が交流を続け、2019年には徐建文助教（当時本学博士後期課程に在籍）が同大学を訪問しました。2022年6月に董 冕雄副学長、白 尚燁准教授、小川 祐紀雄准教授、徐 建文助教が、国立勤益科技大学の駱 文傑国際担当副学長兼工学部長、Dr. Jimmy KF Peng国際交流センター長とオンラインで協議を行い、これまでの交流の積み重ねを礎に同大学創立50周年式典の際に大学間協定を締結することとなりました。

調印式終了後には、同大学の駱国際担当副学長と陳 媛珊人文創意学院院长との懇談が行われました。その際、①修士課程におけるダブルディグリーまたはジョイントディグリーへの対応、②専門の工学に加え、日本語も学べるコース設定（留学前のインテンシブ日本語講座やオンライン日本語講座等の実施）、短期研修についての提案がありました。また、本学から国立勤益科技大学に留学する日本人学生の受け入れについても大変期待されていました。これらに関しては、学内での検討が必要となるため、引き続き協議を進めていくこととなりました。

2. 国立台中科技大学訪問



写真7. 謝学長への記念品贈呈



写真8. 記念撮影

13日には国立台中科技大学を訪問し、今後の学術交流についてディスカッションが行われました。

3度目となる今回の訪問では、まず、謝 俊宏学長と空閑学長が2016年から始まるこれまでの交流を振り返りました。(同大学概要及び2019年の訪問記に関しては、学報No.596およびNo.602参照)特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大下においても、オンラインでの交流が続いたことが評価され、今後もニューノーマル時代における両大学のさらなる交流拡大が期待されます。特に、今般、国立台中科技大学ではAI分野の博士課程が新設されたところ、学生間の研究交流や国際シンポジウムの開催等が計画されています。また、台湾では高齢化が進んでいることから、介護分野でのアプリ開発の可能性等も提案されました。これらの件に関しては、国立台中科技大学の、連 俊璋教授と本学の董副学長、太田教授、小川准教授が連携して進めていくことが確認されました。

3. 学長所感

今回はコロナ禍が始まって以来、3年ぶりの外国出張となりました。台湾では日本と同様に少子高齢化問題が深刻であり、学生確保、入学志願者確保に関して、両大学ともに大きな危機感や、その対応策に関して大いにそのスピード感を感じました。とりわけ、やや歴史が浅い国立勤益科技大学では、危機感やスピード感を強く感じ、陳学長や駱国際担当副学長がエネルギーに活動されているのを肌で感じました。ちなみに国立勤益科技大学はTHE2022年版の世界大学ランキングは1201～1500位と本学よりワンランク上に、QSアジア大学ランキングは451～500位と本学と同じランクであり、世界的には本学とほぼ同じポジションに位置する大学であります。また、国立台中科技大学は、先に述べたように、AI分野の博士後期課程が新設され、博士後期課程の学生諸君の海外派遣や長期インターンシップの相手先を本学も含めて世界に求めています。両大学とも学部や大学院の志願者を、インドネシア、マレーシア、ベトナム、タイ、フィリピンなど幅広くアジア圏で獲得する強い意気込みと実際の活動が行われていました。本学を始め、日本の大学も大いに危機感を持って、国内のみならず海外戦略に関してもスピード感を持って対応していくことが、重要であることをあらためて実感しました。本学、教職員の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

4. おわりに

国立勤益科技大学の創立50周年式典に本学代表団が出席し、さらに同大学との大学間協定が締結されたことは非常に有意義であると言えます。来たる2023年2月20日には、国立勤益科技大学の駱国際担当副学長と同大学訪問団が初めて本学を訪問することが決まっており、両大学間の友好関係がさらに深まることが期待されます。

最後になりますが、本学代表団の訪問に際して、温かく受け入れてくださった国立勤益科技大学および国立台中科技大学の関係者の皆様にお礼を申し上げます。

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額(千円)
しくみ解明系領域 准教授 安藤 哲也	中小企業	260
合計(1件)		260

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額(千円)
しくみ解明系領域 助 教 小 林 洋 介	大 企 業	501
しくみ解明系領域 特任教授 板 倉 賢 一	大 企 業	3,300
合 計 (2 件)		3,801

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額(千円)
株式会社不動テトラ	工学研究助成	500
株式会社ドーコン	工学研究助成	3,000
東日本電信電話株式会社	工学研究助成	500
株式会社丸和技研	工学研究助成	1,000
太平洋セメント株式会社	工学研究助成	500
一般社団法人システム科学研究所	工学研究助成	200
一般社団法人ゴム支承協会	工学研究助成	500
一般社団法人ゴム支承協会	工学研究助成	300
株式会社モビテック	工学教育助成	250
株式会社開発調査研究所	工学研究助成	500
合 計 (10件)		7,250

人事

人事異動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異動内容	氏名	現職
	〈昇任〉		
令和5年1月1日	大学院工学研究科教授（しくみ解明系領域）	近藤 敏志	大学院工学研究科准教授 （しくみ解明系領域）
	大学院工学研究科准教授（しくみ解明系領域）	李 鶴	大学院工学研究科助教 （しくみ解明系領域） 兼務：社会連携統括本部 （クリエイティブコラボレーションセンター）
	〈採用〉《クロスアポイントメント制度適用》		
令和5年1月1日	大学院工学研究科特任准教授（もの創造系領域） 兼務：航空宇宙機システム研究センター	坂本 祐二	北海道大学大学院工学研究科 特任准教授
	〈兼務免〉		
令和5年1月1日	監査室係員（監査係）	小林 誠	監査室係員（監査係） 兼務命：入試戦略課国際交流室 係員（国際企画係） （期間：令和4年12月31日まで）
	〈採用〉		
令和5年1月1日	大学院工学研究科技術補佐員	遠藤 雅子	

学内会議

学内各種委員会等の開催

<11月24日～12月25日>

開催日時 令和4年11月29日(火)
会議名 第21回役員会

開催日時 令和4年12月1日(木)
会議名 第6回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議

開催日時 令和4年12月7日(水)
会議名 第4回経営協議会

開催日時 令和4年12月7日(水)
会議名 第22回役員会

開催日時 令和4年12月7日(水)
会議名 第2回学長選考・監察会議

開催日時 令和4年12月8日(木)
会議名 第8回教育研究評議会

開催日時 令和4年12月8日(木)
会議名 第23回役員会

開催日時 令和4年12月20日(火)
会議名 第5回企画戦略会議

開催日時 令和4年12月20日(火)
会議名 第8回学長特命連絡会A

開催日時 令和4年12月22日(木)
会議名 第6回教授会

開催日時 令和4年12月22日(木)
会議名 第6回学長特命連絡会B

学内行事

- 11月25日(金) 第29回室蘭工業大学蘭岳セミナー
- 11月26日(土) Muroran-IT Rare Earth Workshop2022
(27日まで)
- 11月28日(月) 全学一斉構内クリーン作戦
- 11月28日(月) 寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」中間報告会
- 11月28日(月) 学生×社長オープンマイク
- 11月28日(月) 大学訪問(北海道登別明日中等教育学校:29日)
- 11月28日(月) 大学訪問(青森県立八戸北高等学校)
- 11月28日(月) 安全保障輸出管理説明会-該非判定のための合体マトリクス表の見方-
- 12月1日(木) 辞令交付
- 12月2日(金) 合格発表(2023年4月入学理工学部編入学マレーシア・ツィニング・プログラム入試)
- 12月7日(水) RPAツール(Microsoft:Power Automate Desktop)ハンズオンセミナー12月(16・21日)
- 12月8日(木) 第2回定例記者懇談会
- 12月9日(金) 第14回大学改革セミナー「室工大未来塾」
- 12月10日(土) 第46回蘭岳コンサート
- 12月13日(火) 定期健康診断(14日まで)
- 12月15日(木) FD講演会『ポストコロナにおける学生と教員のメンタルヘルス』

学外行事

- 11月28日(月) JST「日中大学フェア&フォーラムオンライン2022」(オンライン)
- 11月29日(火) 第2回勉強会室蘭脱炭素社会創造協議会(オンライン)
- 11月30日(水) 令和4年度第2回国立大学協会北海道地区支部会議(札幌)
- 11月30日(水) 令和4年度国立大学法人等国际企画担責任者連絡協議会(オンライン)
- 11月30日(水) 留学生センター長会議及び留学生課長等合同会議(オンライン)
- 12月7日(水) 北海道苫小牧東高等学校進学説明会(苫小牧)
- 12月8日(木) 令和4年度学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー(オンライン)
- 12月8日(木) 発達障害のある学生への対応~よりバリアフリーな授業実施を目指して~(オンライン)
- 12月8日(木) 北海道留学生交流推進協議会総会(オンライン)
- 12月9日(金) 第19国立大学法人等監事協議会総会(オンライン)
- 12月9日(金) 全国ダイバーシティネットワークシンポジウム(オンライン)
- 12月10日(土) 台湾・国立勤益科技大学創立50周年式典(台中)
- 12月10日(土) 第30回室蘭工業大学テクノカフェ(札幌)
- 12月12日(月) 台湾・国立勤益科技大学との学術交流協定調印式(台中)
- 12月12日(月) 第8回室蘭工業大学・道総研連携協議会(札幌)
- 12月12日(月) 北海道大学第二回北海道創発会議×プラチナ構想ネットワーク北海道支部設立記念(札幌)
- 12月13日(火) 大学ICT推進協議会2022年度年次大会(オンライン:14日)
- 12月16日(金) 北海道地区大学体育協議会第1回協議員会(オンライン)
- 12月20日(火) 令和4年度第2回国立大学協会政策研究所研究会(オンライン)
- 12月21日(水) 北海道機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー「北海道における宇宙開発の現状と宇宙ビジネス」(札幌)

編集後記

◆ 教職員の皆様からの随想、提言等の御寄稿、あるいは学報への御意見、御希望、また、日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

(リンク先：総務広報課総務広報係、E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308